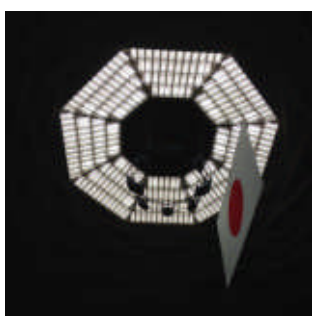


「北海道で柔道に携わった、かつての中学生」の声

since2013/10/06

Web 上でお声をかけさせて頂きましたところ、早速主旨にご理解頂きありがとうございます。特に期限は設けず、お寄せ頂いた声を綴っていこうと思えます。中学生のみならず、多くの方々が中学柔道へのご理解を深めて頂けるならば幸いに存じます。

T.S さん



日曜日にご縁があって札幌の中学生の新人戦をお手伝いさせていただきます。今は土曜日が団体戦で日曜日が個人戦という感じの日程みたいですね。僕が中学生のときは 10 月に個人戦、11 月に団体戦って感じでした。札幌市の新人戦は僕にとって中体連のデビュー戦だったわけです。

小学5年から柔道を始めた僕ですが柔道部のない羊丘中へ進学したので中学入学後も当時通っていた金澤道場で週 2 ペースの練習しかしてなかったんです。

夏の大会こそ陸上部へ入部したせいで出場を見送りましたがそもそも部活がないのにどうやって中体連に出ていいかわからなかったのが陸上部へ入部しちゃったわけですね

隣の月寒中へ通う道場の仲間達がメンバーの誰かの担任の引率で出場したと聞き“そういう手があったのか”と当時担任だったトシオ先生に相談したわけです。トシオ先生は快く秋の新人戦に向けてエントリーとか引率等の調整をしてくれたのでした。そしてめでたく中学1年の新人戦が僕の中体連デビューだったわけです

会場は中央体育館、当時は中量級と呼ばれていた 78kg 級で出場です。選手はもちろん僕一人、監督は1年3組担任のトシオ先生。試合はあれよあれよ言う間に準々決勝まで勝ち進み準々決勝では初めて“黒帯”と対戦することになったわけです。

どうやって勝ったかは覚えておりませんがとりあえず一本勝で準決勝まで進出したんですよ。んで僕の悪い癖、銅メダル確定で燃え尽きちゃったんですね(笑)。準決勝は開始早々あっさり投げられて負けちゃいました(*´▽`*)

それでも大きな自信になりましたね♪もっと練習したらもっと勝てるかも？って柔道にますますのめりこんでいきました。

んで翌年、札幌清田高校で後に主将を務める中島先輩から僕の中学に“うちの高校へ出稽古に来る子が入学するから”と教えていただき、その後輩と一緒に清田高校へ毎日出稽古させていただくことになりました。

同級生が僕の道場で柔道を始めてくれたり、他の少年団へ通う後輩達が入学してくれたりで仲間が5人に増えました。学校での部活動はなかったけど試合だけは団体戦が組めるようになったんです

中2の夏の大会では担任のイマガワ先生に引率いただき、個人と団体で豊平地区を勝ちぬき全市大会まで進出できたんです。ちなみに当時は各区ごとに予選を戦い上位進出者のみが札幌市の大会へ出場できたんです。今は予選なしでいきなり札幌市の予選→北海道予選→全国大会ですね。

全市大会こそ顔見せ程度の結果でしたけど、秋の新人戦や翌年の夏の大会への手ごたえは十分に感じたわけです。それまで道場での週2回の練習しかしていなかった僕が、放課後毎日、清田高校へ出稽古におじゃましましたことも大きな自信になってました。

“間違いなく僕は新人戦の個人戦は優勝する、そして来年の夏は全道大会の個人戦も優勝して全中へ出場するんだ”

中2の9月の昇段審査では4人抜きで抜群で初段を合格し、その思いに迷いも惑いも疑いもなかったわけです。(夏の昇段審査はダイビングをかまして一発反則負で不合格:笑)

ところがどっこい初めて黒帯を腰に巻いた日の道場での練習で大人の人から裏投をくらい左鎖骨を骨折してしまうんです。しかも個人戦の直前に…なんてタイミングでこんななるんだよって、人生が終わったくらい落ち込んだものでした。もちろん個人戦は無念の欠場。

個人戦から1ヶ月先に開催される団体戦にはなんとか間にあって個人戦の無念を晴らすかのように全戦全勝。チームも決勝まで進出しました。中体連での最終成績は個人戦が全国出場どころか北海道予選も叶わない札幌市予選で無念の3位。

やはりというか不運といいますか、全市大会直前の道場での練習で尾てい骨を骨折しちゃったんですよ。まあ今なら当時の自分に“ケガは結果の言い訳にならん”って言えるけど、当時の僕はそれでいっぱいいっぱいでしたもんねえ(笑)

団体戦では地区予選も札幌市大会も勝ち抜き北海道大会で3位入賞。選手兼監督としてケツの骨を折りながらも采配に得点にきれっきれでした。(未経験の新1年生を僕の道場へスカウトして最終的には7人まで増えました)

中体連での成績

(中1)札幌市新人戦個人 78kg 級…3位

(中2)豊平地区団体…2位

豊平地区個人 78kg 級…3位

札幌市新人戦団体戦…2位

(中3)豊平地区団体…優勝

豊平地区個人 78kg 級…優勝

札幌市大会団体…優勝

札幌市大会個人 78kg 級…3位

北海道大会団体…3位

自分が思い描いた結果には恵まれはしませんでしたけど、今思い返すとこれはこれでいい思い出ですし、思い描いた目標への頑張りはこちらから先へつながりましたしここでも充分存在感は見せつけることができたと思います

そんな思い出深い大会を大人になった僕がお手伝いできることがうれしく思います。ここまで読んでいただきありがとうございます(*´▽`*)

長々書いちゃいました(笑)

http://blogs.yahoo.co.jp/goldentigar_v1/33146747.html より引用させて頂きました。

2014/10/16

H.Kさん

人生で挫折を感じた時、失敗したとき、落ち込んだとき、そういった時に自分を奮い立たせてくれているのが柔道です。決して柔道を続けている現役の選手だけが柔道家ではないと思うのです。

「頑張っていた頃の自分だったらこんな悩み、ちっぽけに思うはず」「恩師だったらこういう時にどんな言葉をかけてくれるのだろう」と岐路に立った自分に、過去の経験や心の支えが自分を奮い立たせ、まるで人生の指針となるのです。

当時は無我夢中でいったい自分がどのくらい強くなっているのかもわからず、何を目標に柔道をやっているのかもわかりませんでした。

しかし、やりきった後についてくる結果(仲間との絆、上下左右の繋がりや、挨拶などのマナーも含めて)が単純な勝ち負けや順位ではない事に気が付いたとき、いつまでも自分の一部であるかけがえのない財産となるのです。そう考えても、自分が偶然柔道と出会えたことに、感謝や運命を感じざるを得ません。

35歳にもなり夢中で柔道に励んでいた頃がすっかり昔の事です。しかし、試合前の緊張感や負けた時の悔しさを思い出せば、今でも妙な汗をかいたり、ドキドキしてしまい、まるで昨日の事のように思い出すことができます。

(できればずっと柔道を続けたいと思っているし、時々気軽に柔道を続けたいと思う社会人は私以外にも多いと思いのではないでしょうか?)

仲間と酒を飲めばあの頃の話で時間を忘れます。そして別れる際には「またお互い明日から頑張ろうな!」「またいつか柔道で勝負しような!」といい大人がそう言って帰路につくのです。

2013/10/16

S.Yさん

私が本格的に柔道を始めたのは中学一年でした。小学校時代の少年団活動の延長が部活動と言った感じで、顧問は全くの柔道未経験ではありましたが、大会等の引率では優しい兄的な存在で親しみを持たせた事を現在でも憶えています。

その先生が部員と稽古を重ねて何と初段を獲得(現在は三段)した事で、私も仲間も身近な目標が出来た事で日々の練習にも張り合いが出たものです。

汗を流して得るものの大切さや友情、初めて黒帯を締めた時のあの独特な緊張感、

そして白帯には負けれないと言う自覚を持たせてくれたのが「柔道」です。
現在でも当時の柔道部顧問(現在は北網地方の中学校長)とはたまに連絡を取り合ったり、年賀状のやり取りの交流が続いているのも柔道のおかげだと私なりに感謝しております。
本家本元の師匠(柔整師・七段)は勿論、私の人生の師である事も忘れてはなりません。

2013/10/09

Y.Sさん

私は幼稚園の年長から柔道を学んでおります。今年で30年目です。
小学校時には野球やスピードスケートなどと掛け持ちしましたが中学校時には柔道一本に絞りました。自分なりに努力しましたが全道中体連に出ることができなかったことは、大人になった今でもウジウジしています(なので、現在中学生の方は大人になってウジウジしないように精一杯頑張ってくださいね！)。
高校は親元を離れ、強豪校に行きました。
ただ、ここでも思ったような結果は残せませんでした。後輩にも投げられることは多かったです。でも歯を食いしばり、3年間やり通しました。今になって思うのですが、この3年間で「何でも耐えることができる強靱な精神」を手に入れた気がします。
社会人になり職を幾つか経験し、最終的には生まれ故郷に戻ってきました。
就職面接では正直に言いました。「子供たちに柔道を教えたい」と！
現在、その職場で働きながら小中学生に柔道を教えています。
選手時代、特に輝かしい成績を残さずとも、色々な方に助けられながらも柔道を続けています。柔道を続けてきて良かったな、と今でも思います。
これからも柔道を続けます。柔道が好きですし、子供たちに伝えたいことがたくさんあるからです。

2013/10/09

N.Hさん

小学生の時に琴似武道館の門を叩き、転居で数年離れ、再び中2の時に戻りました。親元離れましたので、「勉強しなきゃ」が第一でした。
当時(昭和54～55年)の稽古は火・木・土 19:00～でしたが、物足りないので卓球部に所属してトレーニングしてため、今思えば運動量はけっこうな量だったようです。
祖母宅に住まわせてもらっていたのですが風呂がなく、近くの銭湯に通い、勉強は夜の10時近くから深夜まで頑張りました。
そこそこは強くなってきたという実感はあったのですが、精神的にはまだまだ甘いところがありました。
それでも中体連で頑張りたくて…しかし学校の事情で出場すらできませんでした(今では考えられない！)。

中 3 の 12 月までは道場に通いましたので塾など通う余裕なく(ホントは貧乏…)、それでも札幌西高に合格(ビリから 2 番)できましたが、ケガと学習成績で絶望のどん底を経験しました。それでも高体連で東海・北海・第一・西高で表彰台に上がったのは…「クジ運」です。

やがて中学校の教師となり「(復讐…中体連を乗っ取ってやる…)」という野望を抱きました。その想いは果たしちゃったので、とにかく日々なにかやっていますが、これもひとえに「**中学時代の稽古**」が土台です。

自分はたぶん、柔道と出会っていなければ中学教師どころか「**かなりヤバい人生**」だろうと断言できます。

ですので、多少なりとも「**柔道に恩返し**」をと思う大人の一人です。

【柔道の魅力】

- ・体力と気力が鍛えられる。
- ・実は「**生き方**」を学んでいる。
- ・なまら多くのいい人と出会える。
- ・「**仲良し率**」が非常に高い。
- ・基本的に柔道有段者は世間での評価が高い。
- ・強くなるとあちこち行けて美味しいモンを喰える機会が増える。
- ・教え子の多くが「人を大切にする職業や生き方」を選んでいる。

【柔道のイヤなところ】

- ・体がでかいとか強いだけなことがまだまだ幅を利かせていること。
- ・大会運営者が**観戦者や応援者の対応**に体力を大きく奪われること。
- ・**結果ばかりを重視**し、その過程を軽視するところ。

2013/10/08

I. Sさん

柔道は、中学生の時顧問の先生がたまたま担任の先生であったこと、私がデブ系の体であったということから始まりました。中学生の時はレギュラーにもなれたこともあって一生懸命やりました。

鉄下駄は履きませんでしたが、鉛入りのリストバンドを授業中も着用したり、**漫画の世界(スポ根)**のような鍛え方もしました。

放課後バスに乗って、関節技や絞め技が使える大人の道場で鍛えたり、そこで半端な考え方を考え直すよう指導されたり、部活以外での柔道の稽古もためになりました。そうやって頑張りましたが、残念なことは、中学生の時代に初段を取れなかったことです。

高校時代は、他の部活やら授業が忙しく、熱心な活動はできませんでした。

大学生になって、どうしても初段が取りたくて柔道部に入りました。仲間に恵まれ、少林寺や極真空手をかじることもできました。他の武道の良さや柔道の良さを理解できた気がします。

中学校から大学まで柔道を通じて、体罰を経験したこともありませんでしたし。
とても良い経験だと思っています。
今でも、道場と仲間が居ればやりたいなあと思っています。
(今は近くに道場がある空手をやっています。)

【良いこと】

- 1) **頑張る気持ち**が鍛えられる。(特に負けず嫌いな年頃の若者にはうってつけです。)
- 2) **礼儀**を重んじる点。
- 3) 雪道で転んでも、受け身をとることができる。
- 4) 上級者にはねごしで投げられると気分が良い。

【悪いこと】

- 1) 怪我が多い。
- 2) 個人競技なので、野球やサッカーのような瞬時の(試合中での)**チームワーク**が少し苦手。

以上です。参考になれば

2013/10/07

S.Tさん

夜分遅くにすみません。

出身は篠路柔道少年団(上篠路中学校)→北海高校の S.T です。

私が柔道をやっていて良かったと思うことは、**違う少年団や中学校の子達と友達になれたこと**です。もちろん**ライバル**同士なんですが、みんなが切磋琢磨して上を目指してく戦友であり、またプライベートでも一緒に遊んだり普段の学校生活では他校の子達と交流する機会がないので、**交友関係が広がったのは自分の中でかなり大きかった**です。あとは、全身を大きく使う競技なんで、汗をいっぱいかいて、**体を動かす楽しさ**を知る事が出来ました。

中学校の頃は、一つ一つの試合で自分の実力を出し切って勝った時の喜びはとても大きかったです。逆にうまく力を発揮できずに負けた時はかなり悔しいです。でもその悔しさをバネにして次の大会では勝ちたい！と挑戦することの大切さも学びました。まさに、**心技体を鍛える事**ができる素晴らしいスポーツだと思います。

かなり支離滅裂な文章ですいません。少しでもお力になれば幸いです。

2013/10/06

N.Aさん



自分の場合は体が小さかったので**体を鍛えたいって気持ち**がありましたね！精神的にはまだまだだったので中学の三年間だけでは中途半端でしたけど f^_^; でも、肉体的にも精神的にもいまの自分になれたきっかけは柔道ではないでしょうか！！

2013/10/06